

令和5年度事業進捗状況に係る意見及び質問に対する各課回答

基本目標1 あらゆる分野への男女平等参画の推進				
施策（1）男女平等意識の形成				
取組の方向性①男女平等参画を推進する広報・啓発活動の充実 ②男性への男女平等参画の取組 ③教育における男女平等意識の形成に向けた取組				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
1	7 男女平等を進める 人権教育の推進	指導課の実施状況の記載が漠然としている。具体的に記載したほうが良いのではないか。	各校においては、「人権教育プログラム（学校教育編）」（東京都教育委員会）等を参考にしながら、人権教育の全体計画及び年間指導計画を作成し、学校の教育活動全体を通じた計画的な人権教育を推進している。各園においては、遊びや生活の中で人権教育を実施している。また、幼児・児童・生徒や保護者より要望（例えば、性自認等）のあった場合等は、個に応じた対応を行っている。	指導課
2	8 男女平等に関する教職員の 研修	人権講座LGBTが廃止されたのは何故ですか。	人権講座は、令和2年度から、人権・多様性推進課が作成した「性の多様性」をテーマとする動画教材を使用し、研修形式をeラーニングに変更しました。既存の人権問題研修においても、同様の教材を取り扱うこととしたため、令和5年度から人権講座を廃止しました。	人事課
施策（2）意思決定過程への男女平等参画の推進				
取組の方向性①審議会等への男女平等参画の推進 ②区民が立案・参画する機会の増加 ③区民の社会・地域活動への参加の促進				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
3	13 女性の参画を推進するための新 ガイドラインの策定	ガイドラインの内容がどのようなものか。女性が参画しやすかったり、継続しやすい仕組みが何かあるのか。	区の審議会において、女性委員の参画をより一層促進するため、審議会委員を選出する際に審議会等の持つ目的に応じた委員の構成や、必要な事項を定めることで、女性が参画しやすく、継続しやすい仕組み作りを推奨しています。女性委員の割合を35%以上を目標とし、この目標に向けて委員の人数や職指定する委員の専門性などの要件の見直しなどを取り組みとして推奨しています。	人権・多様性推進課

施策（３）男女平等参画の視点に立った防災・復興体制の確立				
取組の方向性①男女平等参画の視点に立った防災・復興対策の推進				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
4	19 男女共同参画の視点による防災対策の推進	避難所運営委員会会員数約1,800とありますが、1町会あるいは1地区で何人くらいいるのでしょうか	本部長（副本部長）、総務・情報担当、避難者援護担当、給食・物資担当、救護・衛生担当の分担がある。 本部長（副本部長）には、各町会の町会長や副町会長が就いている。その他担当は町会の方が各2名程度配置されている。 1町会人員目安：9～10名弱 避難所運営単位で担当配置数に変動がある。	危機・災害対策課
5	20 防災・災害復興分野への女性の参画推進	台東区防災会議などの機関に障害者は入っていますか？	台東区防災会議委員に、障害のある方はおりません。しかし、台東区の障害福祉施策等を担当する福祉部の部長や、精神障害のある方への支援を実施している健康部の部長が委員を務めております。加えて、医師会会長、歯科医師会会長、薬剤師会会長といった区内医療機関の代表者様にも委員を務めていただいております。	危機・災害対策課
基本目標２ 職業生活における女性の活躍推進				
施策（４）女性の就業・登用・起業の機会拡大				
取組の方向性①働き方の変革と女性の活躍推進に向けた事業者等への取組の支援 ②女性への就職・再就職支援、起業支援、キャリア形成支援 ③区における働き方の変革と女性の活躍推進				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
施策（５）ワーク・ライフ・バランスの実現				
取組の方向性①ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発 ②ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた企業等への支援 ③出産・育児・介護に対する職場の理解の促進				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課

施策（６）子育て世代・介護者への支援				
取組の方向性①多様な子育て支援サービス・保育サービスの充実 ②子育てに関する支援者の育成 ③子育て世代の居場所づくり、ネットワークづくりの支援 ④ひとり親家庭等への支援 ⑤介護者への支援				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
6	37 保育・子育て支援サービス	実際の状況・利用人数は把握できたが、区民ニーズに対して不足しているのか、十分な支援ができていないのかが気になる。不足している場合は、どのような支援を今後行っていくのか、計画があったら教えていただきたいです。	一時保育については５年度実績では確保数10,030（1日34枠×295日）に対し、事業実績が6,389であるため、ニーズに対しては充足していると考えています。病後児保育については、毎年利用実績を上回る受入数（店員４名×開所日）を確保しており、居宅訪問型病児・病後児保育についても利用者の申請に基づいて助成を実施しているため、ニーズに対して充足していると考えています。 【児童保育課】 台東区次世代育成支援計画（第二期）にも記載していますが、多様な保育ニーズについては各年ごとに、区全体では区民ニーズに対する十分な支援体制が確保できていると認識しています。一方で、春休みや夏休みなどの時期や施設によっては、利用が集中し、利用しにくい時期もあると聞いております。今後としては、令和１０年度に開設予定の（仮称）北上野二丁目福祉施設にて、新たな３か所目として、いっとき保育を開設し、一時預かり事業の拡充を図っていく予定です。【子ども家庭支援センター】	児童保育課 子ども家庭支援センター
7	48 介護サービスの充実と質の向上	実際の状況・利用人数は把握できたが、区民ニーズに対して不足しているのか、十分な支援ができていないのかが気になる。不足している場合は、どのような支援を今後行っていくのか、計画があったら教えていただきたいです。	【考え方】令和7年（2025年）にはいわゆる「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者となり、また令和22年（2040年）には「団塊ジュニア世代」が65歳以上となる等、今後も長期的に介護サービス需要の増加が見込まれます。また、障害者の高齢化や障害の重度化など障害福祉サービスについても需要が増加、多様化しています。そのため、居宅介護や生活介護などのサービスが安定的に提供されるための人材確保や育成・定着が重要です。 人材確保や育成・定着を図るため、今年度から介護・障害福祉サービス提供事業所の採用活動経費助成等の新設や、「障害福祉サービス等従事者養成研修費用助成」の対象拡大により人材確保の取り組みを推進しています。【介護保険課・障害福祉課】 介護慰労事業については、介護者からの要望等により、令和6年度から対象者の範囲及び給付額を拡充しました。 ○ショートステイについてはニーズが高いと考えている。現在、特別養護老人ホームの整備を進めており、ショートステイは特別養護老人ホームに併設して提供される例が多いため、需給バランスがどうなるか注視していきたい。 ○デイサービスについては、概ね充足していると考えている。引き続き需給バランスがどうなるか注視していきたい。【高齢福祉課】 精神障害者本人が不安定な時や、家族の不在時に一時的にグループホームへの受入れをおこなうことにより、福祉の向上を図ることができている。【保健予防課】	高齢福祉課 介護保険課 障害福祉課 保健予防課

基本目標3 誰もが安心して暮らせる環境の整備				
施策（7）配偶者等からの暴力の防止及び被害者保護				
取組の方向性①DV相談業務の充実と関係機関との連携 ②DV被害者の安全の確保と自立支援 ③配偶者等からの暴力を防止するための取組				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
8	49 配偶者暴力相談支援センターの運営	たいとうバーブルほっとダイヤルへの相談件数が、昨年度より倍増しているが、どのような理由があったのでしょうか？また、倍増したことで必要になった支援などがありますか？	相談件数が増えた理由として、令和3年度に相談員を1名増員し、令和4年度からはDV被害について相談があった方との面接相談や、区役所内の他部署・警察等といった関係機関への同行支援を本格的に実施しています。令和4～5年度にかけて、連携関係機関との会議において上記を説明し、必要な情報交換の依頼をして、同時に区民向けの広報にも力を入れてきました。それに伴い、区民の認知度や関係機関からの紹介などが増えたためと考えております。 相談件数の増加に伴って、区で相談の受け皿がなく対応困難な事例などが少なからず発生し、その対応が必要になっています。（一例として、親からの暴力、性被害や性搾取からの避難で行き場所・その日の宿泊場所が無い等）。女性支援新法で示されている民間支援団体との連携を強化し、対応の幅を広げられるよう試みているところです。	人権・多様性推進課
施策（8）あらゆる暴力の防止への取組				
取組の方向性①ハラスメント防止のための取組 ②ストーカー行為・性暴力等の防止に関する意識啓発と相談業務の充実 ③若年層の性的搾取の防止に関する啓発				
9	61 ハラスメントに関する研修・講座	実施状況の「指導課」の記載が具体的ではなく、何を行っているのか知りたい。	年に2回設定されている服務事故防止月間に合わせて東京都が作成した資料を用い、全校において管理職が研修を実施している。	指導課
10	65 スマートフォンルールの周知及び犯罪被害等の防止に向けた取組	実施状況はどうでしょうか？回答が具体的ではありません。	犯罪被害等の防止に向けた取組の主な1つ、セーフティ教室については項番11の通り。また、スマートフォンルールの周知に関しては、夏休み前に「台東区立学校版SNS・インターネット活用ルール」を全校生徒・保護者に配信して周知を行った。	指導課
11		セーフティ教室は、どのような内容で、どのくらいの頻度で行われているのでしょうか？	各学校にて、年に1回は必ず行っている。各校、校種によって異なる。携帯電話会社から講師を呼び、出前授業等をやっている学校もある。犯罪に巻き込まれないようにするためや、児童・生徒間同士のトラブルの未然防止などを中心に講義を行っていただいている。	指導課

施策（９）生涯を通じた男女の健康支援				
取組の方向性①女性の人生の各ステージに対応した健康支援の充実 ②生涯を通じた健康づくりの推進				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
12	68 エイズ感染症予防の正しい知識の普及啓発	L G B T Q +の方に関係するイベントでも、今はA I D Sのことは大きなトピックとして取り上げられていないが、なぜこのひとつの感染症だけ取り上げているのか？また、講習会では他の感染症も取り上げているのか。	感染症は一人ひとりが正しい知識をもち、感染を予防することが非常に重要であるため、若年層のうちからH I V ・エイズ等の性感染症の基本的な知識を学び、感染を予防することが大切です。 また、L G B T Q +の内容についても取り上げており、自分を守るだけでなく、相手のことを考え、理解することの大切さを知る機会を提供しております。 上記の理由から、講演会を実施しており、講演会では、梅毒などの性感染症等もとりあげております。	保健予防課
13		エイズ予防講習会の時に、梅毒の話もしていますか？	上記のとおり梅毒の話もしております。	保健予防課
14	70 高齢者の健康づくりへの支援	老人福祉センターの脳トレ教室がR 4 年6 0 回→R 5 年2 0 回に減少しているのは、何か理由がありましたか	R5年度における老人福祉センターの脳トレ講座の実施回数は20回と前年度に比して少なくなっていますが、他3館との実施回数調整によるためです。老人福祉センター、老人福祉館、かがやき長寿ひろば入谷（3館合計）の総計は120回でR4年度の実施回数と同じです。 ※R4年度の老人福祉センターにおける脳トレ教室の実施回数は計上誤りでした。3館合計についても同じく計上誤りがありました。正しくは老人福祉センターは40回、老人福祉館・かがやき長寿ひろば入谷（3館合計）は80回、総合計は120回でした。	高齢福祉課
15	72 健康相談の実施	健康相談の5年度の総数が「未」になっている。4年度の総数の合計も間違っている。正しい数字を教えてください。	R5年の相談件数は21,304件（訪問2,483件、面接電話連絡等12,288件、関係機関連絡6,533件）です。男女別のデータはありません。 R4年の相談件数は25,299件（訪問2,207件、面接電話連絡等14,826件、関係機関連絡8,266件）です。男女別のデータはありません。	保健サービス課
16	施策9全体に対する質問	保健サービス課で実施している事業で、参加者の男女別データはありますか？	・ウォーキングリーダー養成講座（R5年度：男性10名、女性12名） ・歯科基本健康診査（R5年度：男性2,524名、女性3,391名） ・ハローベビー学級（R5年度：年間46回実施 639組参加、父親参加組数627組（98.1%））	保健サービス課
施策（１０）困難を抱える方への支援の充実				
取組の方向性①高齢者への支援 ②障害者への支援 ③外国人への支援 ④性の多様性に関する理解の促進と相談体制の整備				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
17	76 高齢者の生活支援体制整備	関係機関との連携が4年度末と比較し1 0 倍、そのほかも2 倍となっている。この状況の中で生活支援コーディネーターの配置が1 名で良いか？実態を踏まえて増員を検討すべきではないか？	生活支援コーディネーターと合わせて、地域福祉コーディネーターが事業を実施している。地域福祉コーディネーターは令和4年度末3名から令和6年度現在4名に増員している。	高齢福祉課
18	80 障害者相談支援	精神相談員の延相談件数が半減したのは何か理由があったのでしょうか？障害者手帳を交付される方は精神の方が多いと聞いた事があったので、理由がポジティブなものなのか、ネガティブなものなのか気がになりました。	4年度まで同日に同一相談（電話）で複数回対応していた方々の相談が終了したため、件数が減りました。	保健予防課

【計画推進の基盤】ジェンダーの視点による区政運営の推進				
(1) 男女平等参画の総合的推進				
取組の方向性①全庁的な推進体制 ②職員に対する教育・研修体制の充実 ③施策・事業を推進するための評価体制づくり				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
19	90 管理職選考の受験の奨励	奨励したことによる結果はどうだったのでしょうか？	管理職選考の受験について、性別にとらわれず、受験資格を有する職員に対して、積極的に奨励を行った結果、受験者数は増加傾向にある。	人事課
20	94 男女平等に関する台東区民意識調査	男女平等に関する台東区民意識調査の調査状況は？	令和5年5月8日から令和5年5月26日までの期間で、区内在住満18歳以上の方2000人を対象に実施しました。調査結果は、台東区の公式ホームページで御覧いただけます。	人権・多様性推進課
【計画推進の基盤】ジェンダーの視点による区政運営の推進				
(2) 男女平等推進プラザの充実				
取組の方向性①区民との協働による活力ある運営 ②相談事業の充実 ③男女平等に関する取組の充実と認知度の向上				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
【計画推進の基盤】ジェンダーの視点による区政運営の推進				
(3) 国・東京都・NPO等との連携				
取組の方向性①国・東京都・NPO等との連携				
NO.	事業番号	主な意見及び質問事項	考え方及び回答	回答担当課
21	102 NPO等市民活動団体との連携	どのような取り組みをしているNPOと協働で研修などを行っているのでしょうか？また、今後どのようなNPOや市民団体と連携して取り組みを実施していくのか計画がありましたら知りたいです。	令和6年度は、まちづくり、終活支援、路上生活者支援、外国にルーツを持つ子供たちの支援、子育て中の親子への支援、防災を通じた地域コミュニティ間の交流を促進させる取り組みなどを行っている団体の視察研修を行った。今後も、福祉・保健医療、子どもの健全育成、災害救援、まちづくりなど様々な分野のNPO等と協働し、研修を実施していく。	区民課